

Title	中規模製造業における業績向上のための生産政策の検討 - K社の事例を中心として -
Sub Title	
Author	西井英正(Nishii, Hidemasa) 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1989
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1989年度経営学 第706号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0706

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中規模製造業における業績向上のための生産政策の検討

— K社の事例を中心として —

筆者の父が経営するK社は、中小企業の規模が大きくなってきた、典型的な中規模製造企業である。そして、K社の扱っている製品の多くは市場が成熟してしまっている。このような状況でK社が今後生き残り、発展するための方策を検討しようとしてこの題材を選んだのである。

研究のアプローチとしては、K社の理解を深めるためにも、創業以来の沿革と現状を把握した。そして、1985年までのK社の事業業績を分析し、原因構造を解明することに努めた。次に、1986年～1988年の間の改善アクションの効果を分析し、最後に今後のK社が取るべき政策について検討を行った。

分析の方法については、1985年までを第1フェイズ、1986年～1988年までを第2フェイズとし、業績悪化へ至る状況と、業績悪化からの改善アクションの状況を因果関係図による手法で分析を行った。

最後に、問題、課題に対する政策の決定方法についてであるが、各部門毎の方策を列挙し、順位付けを行って、政策を決定した。順位付けについては、必要資源効果表により、必要資源に対する効果の割合を分析し、技術的順位付けマトリックスにより、技術的順位付けを行い、それらを照らし合わせ矛盾が発生しないようにした。このようにして、K社の取るべき政策についての優先順位を検討し、最終的な政策の提言へと結んだのである。